

マハーバーラタ (05)

カウラヴァ (クル) ・パーンダヴァ (パーンドウ) 家の系図 ,
古代インド地図 ,

マハーバーラタ (05) / [08] カルナの巻 (カルナ・パルヴァン)

0001. カルナ、総指揮官となる、

0002. 戦闘 第十六日目、

マハーバーラタ (05) / [08] カルナの巻 (カルナ・パルヴァン)

0003. 死闘はつづく ,

0004. アルジュナの武勲 ,

マハーバーラタ (05) / [08] カルナの巻 (カルナ・パルヴァン)

0005. カルナ、ナクラを見逃す、

0006. 再生族の勇者たち、

マハーバーラタ (05) / [08] カルナの巻 (カルナ・パルヴァン)

0007. 戦闘 第十七日目 ,

0008. シヴァ神の御者となったブラフマー神 ,

マハーバーラタ (05) / [08] カルナの巻 (カルナ・パルヴァン)

0009. カルナの御者となったシャリヤ王,

0010. マドラカの息子よ,

マハーバーラタ (05) / [08] カルナの巻 (カルナ・パルヴァン)

0011. カルナにかけられた呪い ,

0012. 鬼神カルナ ,

マハーバーラタ (05) / [08] カルナの巻 (カルナ・パルヴァン)

0013. ビーマとカルナの対決 ,

0014. カルナの大殺戮 ,

マハーバーラタ (05) / [08] カルナの巻 (カルナ・パルヴァン)

0015. 苦戦するパンドウ軍 ,

0016. ユディシュティラ、深傷をうける ,

マハーバーラタ (05) / [08] カルナの巻 (カルナ・パルヴァン)

0017. アルジュナ、ユディシュティラを斬ろうとする、

0018. 道徳の機微について、

マハーバーラタ (05) / [08] カルナの巻 (カルナ・パルヴァン)

0019. 今日こそ、カルナを倒す、

0020. 白馬の戦車、

マハーバーラタ (05) / [08] カルナの巻 (カルナ・パルヴァン)

0021. 怒りのビーマ,

0022. カルナを目差すアルジュナ,

マハーバーラタ (05) / [08] カルナの巻 (カルナ・パルヴァン)

0023. ビーマ、ドウフシャーサナの血を飲み下す、

0024. 両雄、対決へ、

マハーバーラタ (05) / [08] カルナの巻 (カルナ・パルヴァン)

0025. アルジュナとカルナの決闘 ,

0026. カルナの首 ,

マハーバーラタ (05) / [09] シャリヤ王の巻 (シャリヤ・パルヴァン)

0001. クリパ、和平を説く、

0002. 新しい総指揮官シャリヤ王、

マハーバーラタ (05) / [09] シャリヤ王の巻 (シャリヤ・パルヴァン)

0003. 戦闘 第十八日目 ,

0004. 孤軍奮闘シャリヤ王 ,

マハーバーラタ (05) / [09] シャリヤ王の巻 (シャリヤ・パルヴァン)

0005. シャリヤ王を貫くユディシュティラの槍,

0006. 天国へ急ぐ戦士たち,

マハーバーラタ (05) / [09] シャリヤ王の巻 (シャリヤ・パルヴァン)

0007. ドウルヨーダナ兄弟たちの戦死 ,

0008. ドウルヨーダナ軍、都へ退く ,

マハーバーラタ (05) / [09] シャリヤ王の巻 (シャリヤ・パルヴァン)

0009. 湖に潜んだドウルヨーダナ ,

0010. ドウルヨーダナに挑むビーマ ,

マハーバーラタ (05) / [09] シャリヤ王の巻 (シャリヤ・パルヴァン)

0011. バララーマの聖地遍歴,

0012. サラスヴァティー河の聖地,

マハーバーラタ (05) / [09] シャリヤ王の巻 (シャリヤ・パルヴァン)

0013. 天軍の総司令官カールッティケーヤ,

0014. 自らの四肢を煮た乙女,

マハーバーラタ (05) / [09] シャリヤ王の巻 (シャリヤ・パルヴァン)

0015. ヨーガの真髄を伝える者,

0016. ヴェーダを忘れた聖仙たち,

マハーバーラタ (05) / [09] シャリヤ王の巻 (シャリヤ・パルヴァン)

0017. クルクシェートラで戦死した者は至福の地へ到る ,

0018. ビーマ、ドゥルヨーダナの太腿を打ち砕く ,

マハーバーラタ (05) / [09] シャリヤ王の巻 (シャリヤ・パルヴァン)

0019. クリシュナの勝利宣言 ,

0020. 最後の総指揮官 ,